

第 32 回 衛星小委員会 議事要旨

1. 日時

令和 7 年 6 月 30 日（月） 16 : 00 ～ 18 : 30

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室及びオンライン

3. 資料

- 資料1 JAXA 第 5 期中長期計画における衛星地球観測の重点テーマについて
- 資料2-1 次世代の電源システム基盤技術獲得に向けた検討
- 資料2-2 衛星オンボード PPP の実証機開発
- 資料2-3 衛星データ等を活用したAI分析技術開発
- 資料2-4 テラヘルツ波を用いた月面の広域な水エネルギー資源探査
- 資料3-1 衛星地球観測の官民連携による災害対応訓練(防災ドリル)の結果報告
- 資料3-2 民間による小型観測衛星コンステレーションの構築加速状況について
- 資料4-1 衛星測位に関する取組方針 2025(概要)
- 資料4-2 衛星測位に関する取組方針 2025(本文)

4. 議事要旨

(1) JAXA 第 5 期中長期計画における衛星地球観測の重点テーマについて

- 資料1に基づいて、JAXA から、JAXA 第 5 期中長期計画における衛星地球観測の重点テーマについて報告があった。
- 委員からの主な意見は以下の通り。
 - ・非常にいい取り組みである。これまで JAXA の地球観測は研究開発が中心だったが、これからはそれを使って外交や安全保障に活用していこうというものであり、良い方向性。
 - ・JAXA の衛星開発に必要な研究開発要素は、新しいセンサや、より高いスペックを求めるだけでなく、同じスペックの衛星でも、より速く安く製造するプロセスを生み出したりすることもあり得ると考える。
 - ・4つの重点テーマは、納得感のあるテーマである。それぞれのテーマについて、ゴールとなる絵姿を具体的に設定するのが重要。
 - ・テーマに異論はない。将来的な民間のプレイヤーを拡大するためにも、衛星事業者や衛星データのサプライヤーのみならず、衛星データの活用により民間企業が得られる利点・ユースケースをより明確にしてほしい。
 - ・パートナー機関の便益を強調したもので、出口を明確にしようとしているのはいい方向性である。将来的には、各省庁において予算化し、アンカーテナンシーとするような状態が望ましい。
 - ・防災に絡むテーマが2つあるのは良い方向性であり、また、DX を絡めるのも望ましいもの。デジタル庁がデジタルエコシステム官民連携協議会を進めていることもあり、連携して進める検討をする方がいい。

(2) 宇宙開発利用加速化戦略(スターダスト)プログラムの戦略プロジェクトの成果報告について

- ① 次世代の電源システム基盤技術獲得に向けた検討
- ② 衛星オンボード PPP の実証機開発
- ③ 衛星データ等を活用した AI 分析技術開発
- ④ テラヘルツ波を用いた月面の広域な水エネルギー資源探査
 - 資料 2-1、資料 2-2、資料 2-3、資料 2-4 に基づいて、各戦略プロジェクトについて報告があった。
 - 委員からの全体的な意見は以下の通り。
 - ・ 各プロジェクトについて、成果が出ていることはよい。
 - ・ 開発が完了したものについては、実際に活用して、フィードバックを行い、さらに改良を行っていくということが重要である。 等

(3) 衛星地球観測の官民連携による災害対応訓練(防災ドリル)の結果報告について

- 資料 3-1 に基づいて、JAXA から報告を行った。また、資料 3-2 に基づいて、内閣府から補足説明を行った。
- 委員からの主な意見は以下の通り。
 - ・ 防災をテーマとした訓練で、大変ありがたいことである。ここ数年で衛星データの撮像頻度等、大きく状況が良くなり、期待できる。
 - ・ 非常にいいドリルだと思う。訓練をやっているのとやっていないのでは違う。
 - ・ 別の地域を対象にするなど、定期的に回っていく仕組みがあるといい。

(4) 衛星測位に関する取組方針について

- 資料 4-1 「衛星測位に関する取組方針 2025 (概要)」について、内閣府準天頂衛星システム戦略室から改めて報告を行った。

以上